

公立高校入試情報 熊本県

【数学】

令和6年度熊本県入試の全体傾向

- 大問数は6問、小問数は30問で、ほぼ例年どおり。
- 大問1は計算の小問集合、大問2は作図を含む各領域の小問集合、大問3は箱ひげ図、大問4は三平方の定理と空間図形の総合問題、大問5は関数、大問6は円と相似の証明を含む平面図形の総合問題。
- 学校選択問題AとBに分かれていて、Bの方が難易度は高い。
- 今年も「箱ひげ図」は出題され、猛暑日を題材として記述問題もあった。与えられたデータを正しく読みとり、説明する練習をしておきたい。
- 大問1と2で配点が5割を超えるので、過去問でしっかり対策しよう。

■ データを読みとる問題の出題

・度数分布表やヒストグラム、箱ひげ図などのデータを読みとって答える問題がよく出題されている。データの傾向をとらえられるよう練習しておく必要がある。

■ 証明問題の出題

・例年どおり、図形の証明問題が出題された。全文記述式の出題であるため、記述式の証明問題への対策が必要である。

★熊本県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式	●			●
		方程式	●	●	●	●
		比例と反比例			●	
		平面図形	●	●	●	●
		空間図形	●	●	●	●
		データの分析と活用	●	●	●	●
	2年内容	式の計算	●	●	●	●
		連立方程式				
		1次関数	●	●	●	●
		図形の調べ方				
		三角形	●	●	●	
		平行四辺形		●		
		確率	●	●	●	●
		データの比較と箱ひげ図		●	●	●
	3年内容	式の計算	●	●	●	●
		平方根	●	●	●	●
		2次方程式	●	●	●	●
		関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
		相似な図形	●	●	●	●
		円の性質		●	●	●
		三平方の定理		●	●	●
		標本調査				
出題形式別の傾向	大問数	大問数	6	6	6	6
		小問数	27	29	30	30
	記述問題	図形の証明(説明)	1	1	1	1
		その他の説明・証明など	1	1		1
		立式・解法の過程の記述				
		作図(図形)	1	1	1	1
		作図(グラフ)		1		